R4.3.14

全校朝礼（放送）

- 皆さん、おはようございます。今年度、最後の全校朝礼となります。先週の3月11日に3年生が本校を卒業しました。式典には、在校生を代表して、生徒会役員と学級委員長のみの参列となり、全員の在校生の皆さんに見てもらえなかったことは残念でしたが、たいへん立派な姿で感動の卒業式となりました。

- 在校生の送る言葉の中にもありましたが、後輩にとても優しくて、一生懸命やる姿がかっこいいことを教えてくれた3年生であったように思います。4月には、新しく１年生が入学してきますが、上級生として良き見本となるように、また、優しい先輩であってほしいと願っています。その卒業式の中で、私が卒業生に伝えた内容の一部を皆さんにも伝えておきます。

- 「この三年間、卒業生の皆さんは、いのちの大切さについても色々と学んできました。二月末頃からは、連日ニュースで信じられない光景を目にし、多くの人が傷つき、いのちを脅かされているという報道が続いています。」

- 「戦争は、人間の生存する権利さえも奪うことから『最大の人権侵害である』と言われています。」「皆さんは、今まで中学校という小さな社会の中で主に生活をしてきましたが、義務教育を終えれば、さらに大きな社会で生きていくことになります。」

- 「これからは、一般社会の一員として、皆さんのような優しい心を持った人が、それぞれの国籍や年齢・性別、文化や言語、障がいの有る無しなど、互いの違いを認め合い、人の持つ良さや能力が十分に発揮できる社会を創ってほしいと心より願っています。」と卒業生の皆さんに伝えました。

- 争いごとで人が傷つき、生きる権利さえ・いのちさえ脅かされるようなことは、どんな理由があっても許されることではありません。

- 考え方や思いの違いから小さなトラブルや争いごとは、学校でもどのような社会でも起こりうると思いますが、一旦立ち止まって、そのことをどう解決していくのかを考え、行動に移すことがとても大切なことであると考えています。

- また、卒業生の皆さんがとても後輩に優しかったように、今後も北稜中学校が優しさの溢れる学校になることを心より願っています。以上で、今年度の全校朝礼でのお話は終わります。